

モノ知りシート③



なら かん さつ
奈良時代の地図を観察しよう



あすわくんみちもりむらかいでんず ならじだい えが えす
「足羽郡道守村開田図」は奈良時代（今から約1,200年前）に描かれた絵図です。
今の地図と比べてみて、どんなちがいがあるでしょう？

1

絵図の中のたてものを模型にしました。

ここではなにをしていたんだろう？

ことばをえらんで、下の文章に空いたマスをうめてね。

この建物は「^{しょうしょ}荘所」といって、このあたりの田んぼなどを管理する^{かんり}事務所の^{じむしょ}ようなものです。田んぼでとれた はこの荘所に集められ、すぐちかくの で舟のせられて、^{なら}奈良の ^{はこ}まで運ばれました。

- ア. とうもろこし イ. 川 ウ. お米 エ. 海 オ. 東大寺 カ. 平安京



2

^{もけい}模型になったたてものは、絵図の中のどこにあるかな？
さがしてみよう。左の写真がヒントだよ。



いまの地図ではどこにあたるかな？下の地図の1～3のうちからえらんでね。

こたえ

3

絵図の中の^{ちめい}地名をさがして、今の地図のA～Cのどこにあたるか、考えてみよう。

【黒前山（くろさきやま）】

→

→今の 山

【生江川（いくえがわ）】

→

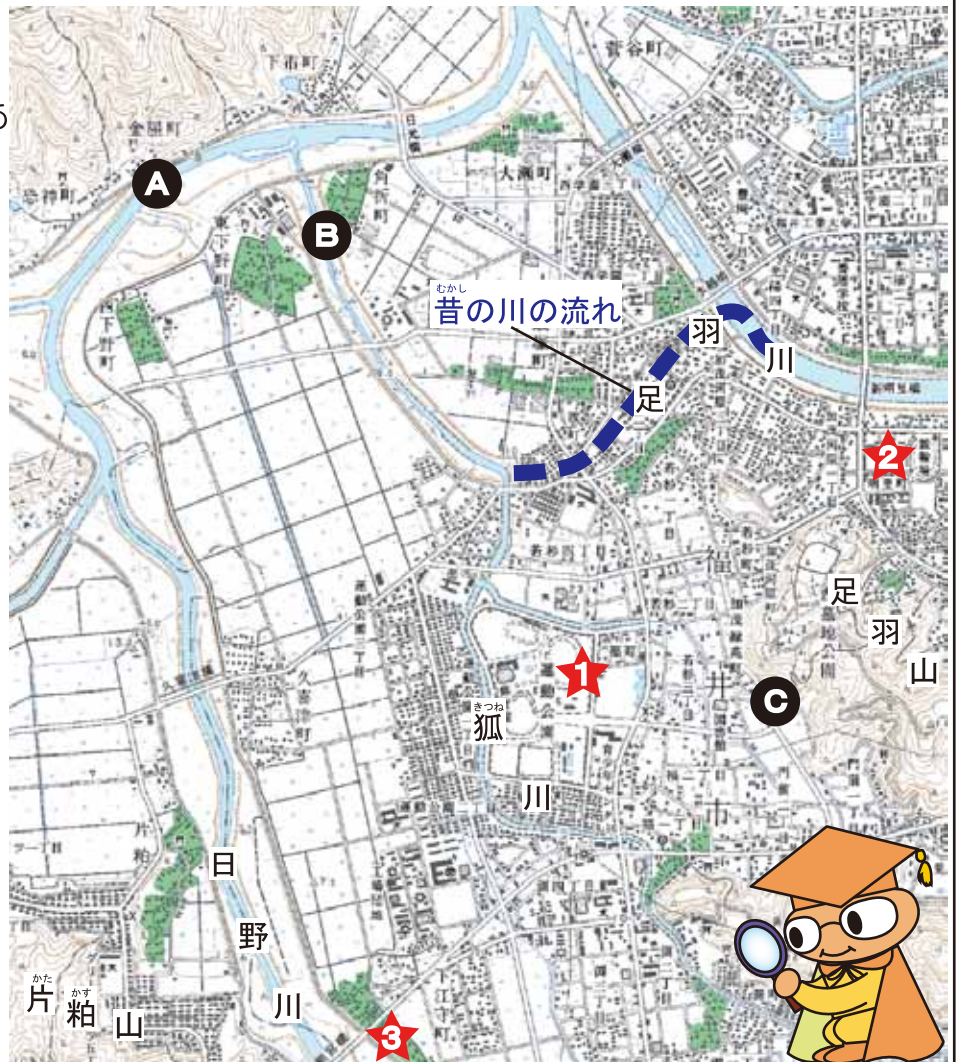
→今の 川と

川

【味間川（あじまがわ）】

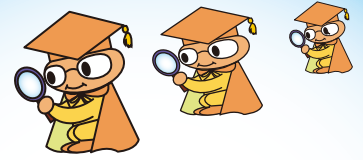
→

→今の 川





「開田図」 観察のポイント



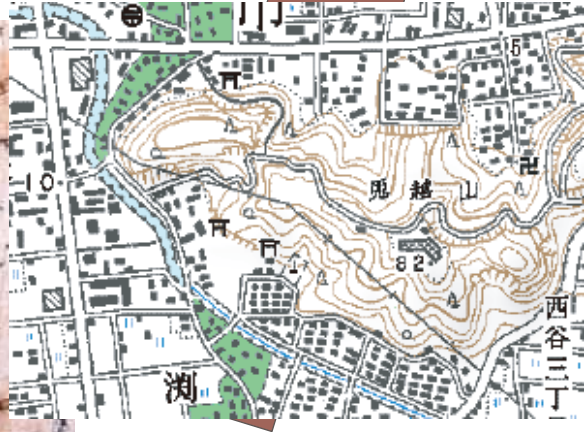
こまかいところをよく観察してみよう。今のわたしたちが描く絵や地図と、ずいぶんちがうところもあるみたいだ。

1



川の水が、ぐるぐるうずをまいているね。ずいぶん流れがはやかったのかな？

2



今の地図とむかしの絵図で、おさごえ山おさごえの部分を比べてみた。上から見た山を描くのはむずかしいみたいだね。山がさかさまに描かれている。

3



四角いマスがずっとならんでいるね。「寺」とかいてあるのはみんな、奈良の大仏様のいる東大寺とうだいじの田んぼだったところだ。でも、ほんとにこんな四角い田んぼばかりが広がっていたんだろうか???
現在のところ、発掘調査はくつちようさでも、このような四角い田んぼは見つかっていない。ほんとのところは田んぼばかりがならんでいたのではなく、ただの野原だった部分も多かったみたいなんだ。

しらべてみよう！

ふくいしし しりょうへんべっかん えす ちず
『福井市史 資料編別巻 絵図・地図』
ずせつ ふくいけんし えす かた しやうえん
『図説 福井県史』 「絵図の語る荘園」

あすわ ぐん みちもりむらかいでんず
「足羽郡道守村開田図」



としょかん
図書館の本でくわしくしらべてみよう！